



会話が成り立たない。

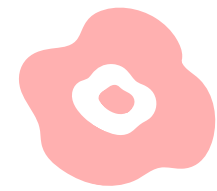
～そんな時どんな声かけしたらいい？～

言語聴覚士 齋藤 久美子





ことば以外にも目を向けること

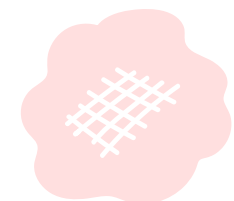


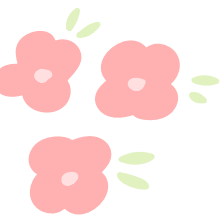
会話が成り立たない理由は ことば以外にも注意すべき 観察ポイントがあります。

3歳～就学前までのお子さんはことばの発達に個人差がある。

ことばの発達に関わる様々な機能を知り、

お家でできる観察や声かけを実践してできることを行っていこう。





会話に関わる機能

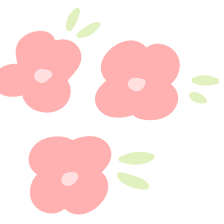
視覚：相手の目を見て話すことができますか？

注意散漫であったり、関心が薄い場合も

お子さんの視野の中に入るところで会話する。

お子さんが注意を向けているものの先に顔がくるように。

視線を合わせやすく位置に保護者がいること。



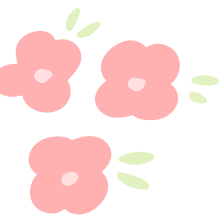
聴覚：聴力は正常か？

聞いたことを理解できているか？

大きな音が鳴っていてもその方向を見ない。

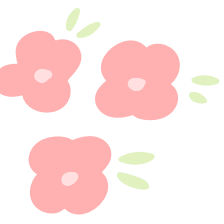
名前や声かけに反応がない場合は聴力の低下が疑われる場合も。その場合は専門家へ。

また、理解ができていないと会話をしていても興味関心は薄れる。その子の理解できる視覚的な刺激を併用して理解を促そう。



補足：視覚・聴覚過敏について

光を過度に眩しく感じたり、大きな音を刺激を不快に感じることも。カーテンや淡い色の物、音の少ない場所など環境調整しながら不快感を和らげていこう。

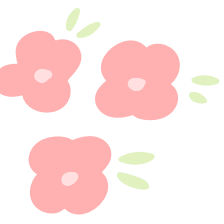


運動：肺の機能や口や舌の運動が未熟？

身体の機能も会話には大切。

声を大きく長く出すためには呼吸も大切。

姿勢が悪かったり、呼吸が浅かったりすると会話が長続きしない。遊びを通して体幹や柔軟性、肺活量を身につけよう。また、しっかり噛んで食べることもお口や舌の機能向上となり明瞭な発音にも繋がる。



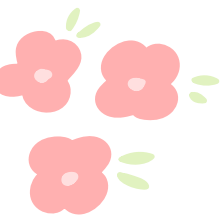
思考・記憶：話をまとめる、相手の気持ちを推測する

聞いたことや考えたことを覚えているか？

相手の言いたいことをまとめて自分の言葉で返事をする
ことは、思考力と記憶力が関わる。

言葉だけでなく様々な五感を通した会話だと思考力も
向上し、記憶にも残りやすい。

楽しく、意欲がある内容で行ってこう。



会話はキャッチボール

相手が理解しやすい言葉や話し方をする

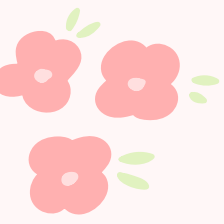
相手の意図を汲み取って要点を理解する

この作業がうまくできなければ会話は成り立たない。

そのためにも、視覚や聴覚、運動、思考、記憶などの

側面も観察しながらお子さんが集中して楽しめる

そんな会話を家庭の中で楽しもう。



難しく考えないで

ここで言いたいのは、ネットやSNSなどの情報に振り回されず
お子さんとの時間を楽しんでほしいということ。

言葉だけではなく様々な機能が会話には必要。

外遊びや見たて遊び、トランポリンや枯れ葉を踏んだり、

五感を通してお子さんのたくさんの側面を観察して、

楽しい夢中になれる遊びから機能を伸ばしていこう。

他人軸ではなく、お子さんと保護者の軸でのびのびと。

ご覧いただきありがとうございます

